



ご挨拶

武蔵野大学 環境学部 環境学科 教授 佐々木重邦

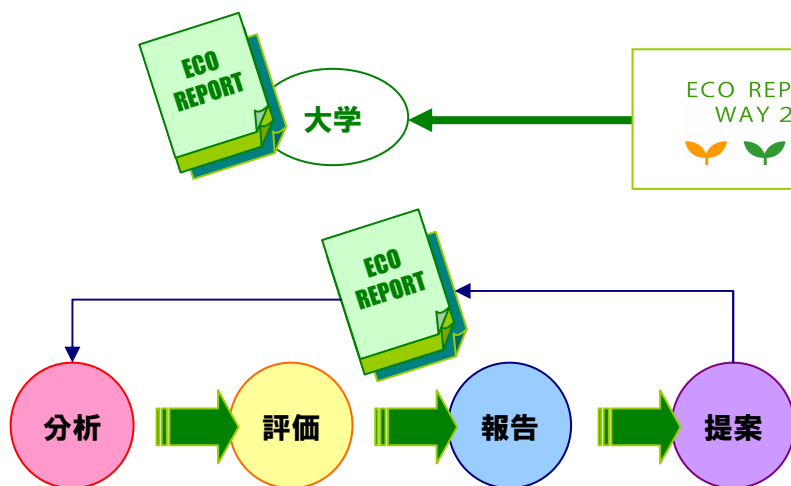
エコプロダクツへの「ECO REPORT WAY 21」の出展は、今回で3回目となります。

今年度は、CSR・環境報告書进行分析・評価させていただいた企業へのフィードバック・意見交換に力を入れた活動を行いました。企業からのご意見を参考にして、幾つかの指標を改善するとともに、企業側にも学生の意見を参考に報告書の改善を図っていただきました。

現在、今後分析・評価するCSR・環境報告書を選定中ですので、ご興味のある方は、ご連絡をいただきたいと思っております。

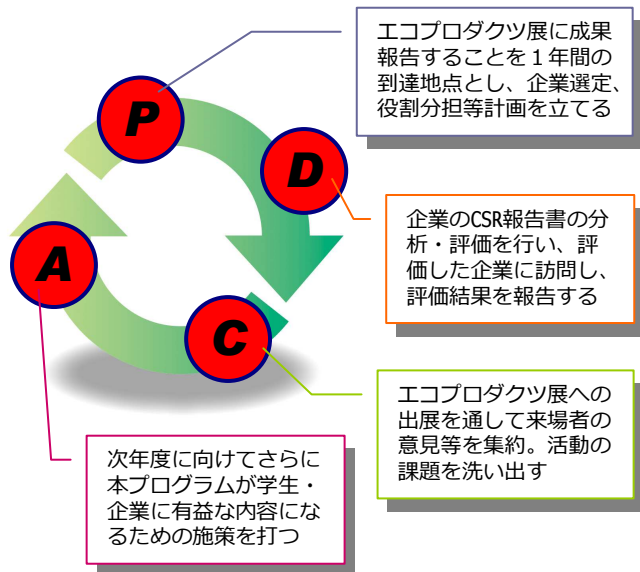
ECO REPORT WAY 21 とは

CSR・環境報告書を通して企業が未来の環境リーダーを育成する「教育プログラム」です。



「ECO REPORT WAY 21」(「学生・若者の環境報告書21の指標」)は、未来の環境リーダーを育成する「環境教育プログラム」として、次世代の主役となる20代の若者(学生)たちが「CSR・環境報告書」进行分析・評価します。

そして「CSR・環境報告書」のあるべき姿 = “企業の活動を映す『鏡』として、読みやすく、わかりやすい情報発信ツール”とするために、「学生の視点」より企業に新しいアイデアを提案するプロジェクトです。



ECO REPORT WAY 21 による

学生のWIN	企業のWIN
・日頃の研究を実践できる機会	・現報告書の有効活用、読者数の拡大
・コミュニケーションスキルの向上	・学生の企業に対する理解の向上
・就職活動等に向けた企業研究	・次世代の人材育成という社会貢献
・企業で働く人々との交流	・報告書制作や活動の改善に参考
・エコプロダクツ展への出展	・企業が欲しい人材の発見

2008年より、企業からご提供いただいた「CSR・環境報告書」を学生たちが丹念に読み解き、「21の指標」をもとに分析・評価しています。分析・評価結果については、レポートにまとめ、学生が企業に訪問し、報告とともに意見交換する場を設けています。

企業が未来に向けて「環境意識の高い人材」を育むことは、「人」に焦点を当てた、『CSR』の一つと考えます。

学生にとっては、企業との接点を持つことにより、より実践的な活動機会を得ることができます。また、この活動では、自ら考え、行動するPDCAサイクルの実践により、「自律型人材への成長」を目指しています。

学生たちの「CSR・環境報告書」を分析・評価する視点は、「リクルート(将来働きたい企業)」



2010年の主な活動

2010

エコプロダクツ2009に出展(2009.12)



授業内発表



中間報告会



各企業に訪問。新指標での評価結果を報告・説明

Digest

■有意義な活動内容に惹かれ、入りました。

授業内での発表を聞き、自分も大勢の前でこんなに堂々と発表したいと思ったのが、このプロジェクトに興味を持ったきっかけです。また活動内容も、学生のうちに企業の方と直接お話しをする機会がとてとても有意義なことであり、魅力的に感じました。将来のために自分を成長させてくれる場だと思い、このプロジェクトに入りました。

■授業では学べない企業の環境活動を知れました。

環境学科生として授業でも環境について勉強していますが、それを実践的に学ぶ場はなかなかありません。この活動では、報告書を読むことで企業が行っている環境活動や法令について知ることができ、授業で学んだ内容もアウトプットすることができます。また、興味のある業種の環境政策についても深く知ることができ、自分の将来について真剣に考える様になりました。

■さらに上を目指し、貪欲に進みたい。

プロジェクト全体の目標は、先輩たちが築き上げた実績をさらに上回る様、貪欲な気持ちで活動したいと考えています。企業に訪問するだけでなくエコプロダクツで自分たちの活動を一般の人にアピールできるので、そこで第三者の意見をいただき活動に反映させたいと思っています。また、自分自身、より環境や社会の知識を深め、卒業後にその知識を活かせる様な活動をしたいと考えています。企業の方とお話しをする機会も多いので、マナーをしっかりと身につけて社会に出ても恥をかかない社会人になりたいです。



ECO REPORT WAY 21
次期リーダー
武蔵野大学 環境学部2年
小野 弘祐

「ECO REPORT WAY21」(「学生・若者の環境報告書21の指標」プロジェクト)は、武蔵野大学 環境学部 環境学科とニッセイエプロ株式会社が進めている『産学連携』プロジェクトです。